

コーポレートセミナー

■ 日本語セッション / ■ 英語セッション

10月11日（金） 11時20分～12時05分

■LS1-1 高リスク AML 治療の最前線 -CPX-351 登場によってどう変わるか？-

【第1会場 国立京都国際会館 1F メインホール】

座長：清井 仁（名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学）

演者：正本 庸介（東京大学医学部附属病院 無菌治療部）

共催：日本新薬株式会社

■LS1-2

【第2会場 国立京都国際会館 2F Room A】

座長：後藤 明彦（東京医科大学 血液内科学分野）

Molecular response を目指した真性多血症の新たな治療戦略

演者：桐戸 敬太（山梨大学医学部 血液・腫瘍内科）

Treatment strategy for PV : The Ropeg-IFN era

演者：Rami Komrokji (Malignant Hematology Department, Moffitt Cancer Center, US)

共催：ファーマエッセンシアジャパン株式会社

■LS1-3 血友病のリバランス療法

【第3会場 国立京都国際会館 1F さくら】

座長：嶋 緑倫（奈良県立医科大学）

演者：松下 正（名古屋大学医学部附属病院 輸血部・検査部）

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

■LS1-4 CART treatment in DLBCL – Recent advances and findings –

【第4会場 国立京都国際会館 1F Room D】

座長：安藤 美樹（順天堂大学大学院医学研究科 血液内科学）

演者：Caron Jacobson (Dana-Farber Cancer Institute)

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

■LS1-5 標的療法時代における AML 診療の現在地と展望

【第5会場 国立京都国際会館 1F Room E】

座長：土岐 典子（がん・感染症センター都立駒込病院 血液内科）

演者：松岡 賢市（徳島大学大学院医歯薬学研究部 血液・内分泌代謝内科学分野）

共催：第一三共株式会社

**■LS1-6 EZH2 阻害剤の秘めたる力を理解する
～新たなプレシジョンメディスンとしての可能性～**

【第 6 会場 国立京都国際会館 2F Room B-1】

座長：小川 吉明（東海大学医学部 血液腫瘍内科）

演者：伊藤 量基（関西医科大学 内科学第一講座）

共催：エーザイ株式会社

■LS1-7 CLL における BTK 阻害剤の使い方：最新知見

【第 7 会場 国立京都国際会館 2F Room B-2】

座長：永井 宏和（国立病院機構名古屋医療センター）

演者：鈴木 律朗（島根大学医学部）

共催：アストラゼネカ株式会社

**■LS1-10 病態から紐解く今後の ITP 治療戦略
～抗 FcRn フラグメント抗体ウィフガートの可能性とその未来～**

【第 10 会場 国立京都国際会館 2F Room K】

座長：横山 健次（東海大学医学部付属八王子病院 血液腫瘍内科）

演者：加藤 恒（大阪大学医学部附属病院 輸血部）

共催：アルジェニクスジャパン株式会社

■LS1-11 造血器腫瘍患者における真菌感染症管理

【第 11 会場 国立京都国際会館 1F Room C-1】

座長：澤 正史（安城更生病院 血液・腫瘍内科）

演者：森 康雄（九州大学病院 血液・腫瘍・心血管内科）

共催：MSD 株式会社

**■LS1-12 悪性リンパ腫の自家移植におけるチオテパの位置づけ
～当院での使用経験も踏まえて～**

【第 12 会場 国立京都国際会館 1F Room C-2】

座長：錦織 桃子（京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻）

演者：井尾 克宏（関西電力病院 血液内科）

共催：住友ファーマ株式会社

■LS1-13 ヒト造血幹細胞自己複製能不均一性の分離

【第 13 会場 国立京都国際会館 1F Room F】

座長：鈴木 淳（京都大学高等研究院 アイセムス）

演者：宮西 正憲（神戸大学大学院医学研究科 小児科学分野造血幹細胞医療創成学部門）

共催：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

**■LS1-15 再発/難治性 PTCL 治療の可能性
～darinaparsin の実臨床での経験を踏まえて～**

【第 15 会場 国立京都国際会館 1F Room H】

座長：福原 規子（東北大学大学院医学系研究科 血液内科学）

演者：池田 大輔（岡山大学病院 血液・腫瘍内科）

共催：日本化薬株式会社

■LS1-16 MPN の診断と治療における新たな展開

【第 16 会場 ザ・プリンス 京都宝ヶ池 1F ロイヤルルーム】

座長：張替 秀郎（東北大学大学院医学系研究科 血液内科学分野）

好酸球増多症の鑑別と好酸球増多、チロシンキナーゼ融合遺伝子を伴う骨髄系／リンパ系腫瘍

演者：杉本 由香（三重大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学）

FGFR1::BCR 融合遺伝子陽性白血病に対する Pemigatinib による治療経験と高リン血症対策

演者：扇屋 大輔（東海大学医学部内科学系血液・腫瘍内科学）

共催：インサイト・ジャパン合同会社

■LS1-17 多発性骨髄腫の治療戦略

【第 17 会場 ザ・プリンス 京都宝ヶ池 B1F ローズルーム】

座長：中世古 知昭（国際医療福祉大学）

演者：山本 豪（国家公務員共済組合連合会虎の門病院）

共催：富士製薬工業株式会社

**■LS1-18 HD-MTX の治療管理における古くて新しい Plan-B
－メグルダーゼの役割－**

【第 18 会場 ザ・プリンス 京都宝ヶ池 B2F ゴールドルーム】

座長：丸山 大（がん研究会有明病院 血液腫瘍科）

演者：近藤 英生（川崎医科大学 血液内科）

共催：大原薬品工業株式会社

10月12日（土） 11時20分～12時05分

■LS2-1 移植非適応多発性骨髄腫の治療戦略

【第 1 会場 国立京都国際会館 1F メインホール】

座長：角南 一貴（独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター 血液内科）

初回治療としての Daratumumab 含有レジメンの可能性を解き放つ：

エビデンスと日常診療から見てきたこと

演者：堀米 佑一（北里大学大学院医療系研究科 血液内科学）

Daratumumab 継続治療の重要性と感染症マネジメント

演者：上村 智彦（原三信病院 血液内科）

共催：ヤンセンファーマ株式会社

■LS2-2 DLBCL の治療 in 2024

“細胞・免疫療法ばかりでなく、たまにはポリパイの話でも”

【第2会場 国立京都国際会館 2F Room A】

座長：楠本 茂（愛知県がんセンター 血液・細胞療法部）

演者：大間知 謙（東海大学医学部内科学系血液・腫瘍内科学）

共催：中外製薬株式会社

■LS2-3 再発難治性 DLBCL 治療の最前線

～エブリクタマブの発売後、我々の臨床現場はどのように変化したか？～

【第3会場 国立京都国際会館 1F さくら】

座長：赤司 浩一（九州大学大学院医学研究院 病態修復内科学）

演者：福原 傑（国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科）

共催：ジェンマブ株式会社／アッヴィ合同会社

■LS2-4 An approach to the treatment of anemia in lower risk MDS

【第4会場 国立京都国際会館 1F Room D】

座長：黒川 峰夫（東京大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学）

演者：Guillermo Garcia-Manero（Department of Leukemia, The University of Texas MD Anderson Cancer Center）

共催：プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

■LS2-5 再生不良性貧血の最新の治療戦略 症例から考える IST と移植

【第5会場 国立京都国際会館 1F Room E】

座長：森 毅彦（東京科学大学医学部 血液内科）

演者：大西 康（東北大学病院 血液内科）

共催：ファイザー株式会社

■LS2-6 - 発売から4年 -

サークリサ4レジメンによる RRMM 治療戦略

【第6会場 国立京都国際会館 2F Room B-1】

座長：島崎 千尋（JCHO 京都鞍馬口医療センター 名誉院長）

演者：高桑 輝人（若草第一病院 血液内科）

演者：池田 宇次（静岡県立静岡がんセンター 血液・幹細胞移植科）

共催：サノフィ株式会社

■LS2-7 PNH 治療の進化 ～新たな抗補体薬の登場～

【第7会場 国立京都国際会館 2F Room B-2】

座長：鈴木 隆浩（北里大学医学部 血液内科学）

演者：植田 康敬（大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学）

共催：アレクシオンファーマ合同会社

■LS2-10 骨髄線維症の診断と治療展開

【第10会場 国立京都国際会館 2F Room K】

座長：池田 和彦（福島県立医科大学医学部輸血・移植免疫学講座）

演者：近藤 健（愛育病院血液病センター）

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

■LS2-11 初発 DLBCL の分子メカニズムと治療戦略

【第11会場 国立京都国際会館 1F Room C-1】

座長：照井 康仁（埼玉医科大学病院 血液内科）

演者：遠西 大輔（岡山大学病院 ゲノム医療総合推進センター）

共催：協和キリン株式会社

■LS2-12 多発性骨髄腫治療におけるクラススイッチの重要性

【第12会場 国立京都国際会館 1F Room C-2】

座長：高山 信之（杏林大学医学部 血液内科）

免疫細胞療法時代の多発性骨髄腫の治療戦略

ーカルフィルゾミブの位置づけを考えるー

演者：塚田 信弘（日本赤十字社医療センター 血液内科）

共催：小野薬品工業株式会社

■LS2-15

【第15会場 国立京都国際会館 1F Room H】

座長：朝倉 英策（金沢大学附属病院血液内科）

DIC の病型分類からみた治療戦略

演者：朝倉 英策（金沢大学附属病院血液内科）

造血器腫瘍を基礎疾患とした DIC に対する遺伝子組み換えトロンボモジュリン製剤による治療のエビデンス

演者：河野 徳明（県立宮崎病院内科）

共催：旭化成ファーマ株式会社

■LS2-16 経口単剤治療という選択：

補体 B 因子阻害剤ファビハルタがもたらす PNH 治療の新展開

オンデマンド配信

【第16会場 ザ・プリンス 京都宝ヶ池 1F ロイヤルルーム】

座長：中尾 眞二（石川県赤十字血液センター）

演者：北脇 年雄（京都大学医学部附属病院 血液内科）

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

■LS2-17 GVHD 治療の現状と今後

【第17会場 ザ・プリンス 京都宝ヶ池 B1F ローズルーム】

座長：谷口 修一（国家公務員共済組合連合会 浜の町病院）

慢性 GVHD の多彩な症状と治療の課題

演者：仲宗根 秀樹（自治医科大学 分子病態治療研究センター 領域融合治療研究部／附属さいたま医療センター 血液科）

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

■LS2-18 FLT3 変異陽性急性骨髄性白血病の移植後再発抑制を目指した治療戦略

【第 18 会場 ザ・プリンス 京都宝ヶ池 B2F ゴールドルーム】

座長：山口 博樹（日本医科大学 大学院医学研究科 血液内科学分野 大学院教授）

演者：遠矢 嵩（がん・感染症センター 都立駒込病院 血液内科）

共催：アステラス製薬株式会社

10 月 13 日（日） 11 時 50 分～12 時 35 分

■LS3-1 Future Perspectives on Frontline Therapy in CML and Treatment-free remission

【第 1 会場 国立京都国際会館 1F メインホール】

座長：高久 智生（埼玉医科大学病院 血液内科）

演者：Dennis Dong Hwan Kim（Medical Oncology and Hematology, Princess Margaret Cancer Center, Ontario, Canada）

共催：ノバルティス ファーマ株式会社 メディカル・アフェアーズ本部

■LS3-2 VEN+AZA 併用療法の使用経験から見る Unfit AML の長期治療戦略

【第 2 会場 国立京都国際会館 2F Room A】

座長：宮本 敏浩（金沢大学医薬保健研究域 医学系血液内科学）

演者：安藤 純（順天堂大学医学部 細胞療法・輸血学）

共催：アッヴィ合同会社

■LS3-3 多発性骨髄腫患者さんの Well being 実現の重要性と維持療法の意義

【第 3 会場 国立京都国際会館 1F さくら】

座長：高松 泰（福岡大学 医学部 腫瘍・血液・感染症内科学）

MM 治療における Well-Being を叶えるための治療戦略

演者：伊藤 薫樹（岩手医科大学医学部 内科学講座 血液腫瘍内科分野）

共催：武田薬品工業株式会社

■LS3-4 Latest updates in treatment of PNH from real-world evidence of C3 inhibitor

【第 4 会場 国立京都国際会館 1F Room D】

座長：櫻井 政寿（慶應義塾大学 医学部 血液内科）

演者：Richard Kelly（Leeds Teaching Hospitals NHS Trust）

共催：Swedish Orphan Biovitrum Japan 株式会社／旭化成ファーマ株式会社

■LS3-5 小児・成人における急性リンパ性白血病の最適な治療戦略

【第 5 会場 国立京都国際会館 1F Room E】

座長：加藤 元博（東京大学大学院 医学系研究科 小児科学）

ALL 治療におけるアスパラギナーゼ製剤の進歩

演者：矢野 未央（京都市立病院 小児科）

アスパラギナーゼ製剤による成人 ALL 治療の最適化

演者：長藤 宏司（久留米大学医学部 内科学講座 血液・腫瘍内科部門）

共催：日本セルヴィエ株式会社

■LS3-6 Treatment strategy for ITP and clinical positioning of fostamatinib

【第6会場 国立京都国際会館 2F Room B-1】

座長：桑名 正隆（日本医科大学大学院医学研究科 アレルギー膠原病内科学分野）

演者：Nichola Cooper（Department of Immune Haematology, Imperial College London）

共催：キッセイ薬品工業株式会社

■LS3-7 Insights of Bendamustine from North Japan Hematology Study Group —濾胞性リンパ腫治療の新時代を見据えて

【第7会場 国立京都国際会館 2F Room B-2】

座長：米澤 昭仁（小倉記念病院 血液内科）

演者：金谷 穰（愛育病院 血液内科）

共催：シンバイオ製薬株式会社

■LS3-10 血液腫瘍領域の細菌感染症と治療

【第10会場 国立京都国際会館 2F Room K】

座長：滝田 順子（京都大学大学院医学研究科 発達小児科学）

演者：小泉 祐介（和歌山県立医科大学 臨床感染制御学講座）

共催：塩野義製薬株式会社

■LS3-11 慢性GVHD治療の進歩と展望～ECP治療の導入をふまえて～

【第11会場 国立京都国際会館 1F Room C-1】

座長：日野 雅之（大阪公立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学）

演者：後藤 辰徳（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 輸血部）

共催：マリクロットファーマ株式会社

■LS3-12 Ph 陽性白血病：診断と治療の最新展望

【第12会場 国立京都国際会館 1F Room C-2】

座長：久保 恒明（青森県立中央病院 血液内科）

演者：佐々木 宏治（Department of Leukemia The University of Texas MD Anderson Cancer Center, Houston TX, U.S.A.）

共催：大塚製薬株式会社

■LS3-13 新規医療機器 LM1010 を活用した血液領域の TDM ～血中濃度情報をより早くより身近に～

【第13会場 国立京都国際会館 1F Room F】

座長：木村 晋也（佐賀大学医学部内科学講座 血液・呼吸器・腫瘍内科）

演者：三浦 昌朋（秋田大学大学院医学系研究科 薬物動態学講座）

共催：株式会社日立ハイテク

■LS3-15 MCL 治療におけるピルトブルチニブの位置付け

【第15会場 国立京都国際会館 1F Room H】

座長：加藤 光次（九州大学大学院医学研究院 病態修復内科学）

演者：島田 和之（名古屋大学医学部附属病院 血液内科）

共催：日本新薬株式会社

■LS3-16 鉄欠乏性貧血の治療法 update

～地球における鉄と生命進化からみた考察～

【第16会場 ザ・プリンス 京都宝ヶ池 1F ロイヤルルーム】

座長：小松 則夫（順天堂大学医学部内科学血液学講座）

演者：小船 雅義（札幌医科大学医学部 血液内科学）

共催：鳥居薬品株式会社 メディカルアフケアーズ部

■LS3-17 白血病ゲノムと MRD：FLT3 分子標的治療バイオマーカー

【第17会場 ザ・プリンス 京都宝ヶ池 B1F ローズルーム】

座長：中島 秀明（横浜市立大学大学院医学研究科 幹細胞免疫制御内科学）

演者：南 陽介（国立がん研究センター東病院 血液腫瘍科）

共催：Invivoscribe/LabPMM 合同会社

■LS3-18 同種造血幹細胞移植後感染症管理における免疫グロブリン補充療法の役割

オンデマンド配信

【第18会場 ザ・プリンス 京都宝ヶ池 B2F ゴールドルーム】

座長：福田 隆浩（国立がん研究センター中央病院 造血幹細胞移植科）

演者：藤 重夫（大阪国際がんセンター 血液内科）

共催：CSL ベーリング株式会社

10月11日（金） 16時20分～17時05分

■ES1-1 骨髄線維症および真性多血症の診断と治療

【第1会場 国立京都国際会館 1F メインホール】

座長：下田 和哉（宮崎大学 医学部内科学講座 血液・糖尿病・内分泌内科学分野）

骨髄線維症の治療の進歩

演者：竹中 克斗（愛媛大学大学院医学系研究科 血液・免疫・感染症内科学）

真性多血症に対する治療戦略

演者：太田 秀一（札幌北楡病院 血液内科）

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

■ES1-2 LBCL に対する CAR-T 療法：各製品の特性を活かした治療戦略

【第2会場 国立京都国際会館 2F Room A】

座長：豊嶋 崇徳（北海道大学大学院医学研究院 血液内科学教室）

演者：加藤 淳（慶應義塾大学医学部 血液内科）

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

■ES1-3 AA と ITP の最新治療戦略およびレボレードの位置づけ

オンデマンド配信

【第3会場 国立京都国際会館 1F さくら】

座長：三谷 絹子（獨協医科大学）

TPO-RA 時代における再生不良性貧血診療の最前線

演者：山崎 宏人（金沢大学附属病院 医療安全管理部）

ITP 治療の今後の展望：エルトロンボバグの新たな可能性

演者：柏木 浩和（大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科／大阪府赤十字血液センター）

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

■ES1-4 多発性骨髄腫における新時代の治療戦略

【第4会場 国立京都国際会館 1F Room D】

座長：今井 陽一（獨協医科大学 内科学（血液・腫瘍））

多発性骨髄腫における治療の進展

演者：吉原 哲（兵庫医科大学 呼吸器・血液内科学）

抗体医薬の技術革新

演者：津本 浩平（東京大学大学院工学系研究科 バイオエンジニアリング専攻）

共催：ヤンセンファーマ株式会社 メディカルアフェアーズ本部

■ES1-5 カプラシズマブを用いた後天性 TTP 診療の現状

【第5会場 国立京都国際会館 1F Room E】

座長：上田 恭典（倉敷中央病院 血液内科）

演者：八木 秀男（奈良県総合医療センター 血液・腫瘍内科）

共催：サノフィ株式会社

■ES1-6 濾胞性リンパ腫に対する治療戦略

【第6会場 国立京都国際会館 2F Room B-1】

座長：保仙 直毅（大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学）

演者：蒔田 真一（国立がん研究センター 中央病院）

共催：中外製薬株式会社／日本新薬株式会社

■ES1-7 末梢性T細胞リンパ腫に対する治療戦略とブレンツキシマブ ベドチンのポジショニング

【第7会場 国立京都国際会館 2F Room B-2】

座長：崔 日承（国立病院機構 九州がんセンター 血液・細胞治療科）

演者：山内 寛彦（公益財団法人がん研究会 有明病院 血液腫瘍科）

共催：武田薬品工業株式会社

■ES1-10 造血器腫瘍患者における真菌感染症管理

—アスペルギルス、カンジダ、ムーコルに対する標的治療を中心に—

【第10会場 国立京都国際会館 2F Room K】

座長：高木 伸介（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 血液内科／造血細胞移植後長期フォローアップセンター）

演者：木村 俊一（自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科）

共催：住友ファーマ株式会社

■ES1-11 後天性血友病 A 治療の新時代—新たな治療薬への期待—

【第11会場 国立京都国際会館 1F Room C-1】

座長：天野 景裕（東京医科大学 臨床検査医学分野）

演者：関 義信（新潟大学医歯学総合病院 血液内科）

共催：武田薬品工業株式会社

■ES1-12 高リスク MDS の特徴

【第 12 会場 国立京都国際会館 1F Room C-2】

座長：宮崎 泰司（長崎大学 原爆後障害医療研究所 原爆・ヒバクシャ医療部門
血液内科学研究分野）

演者：南谷 泰仁（東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 造血病態制御
学分野）

共催：アッヴィ合同会社

■ES1-13 PNH に対する新たな治療戦略 ～C3 阻害剤の可能性～

【第 13 会場 国立京都国際会館 1F Room F】

座長：西脇 嘉一（東京慈恵会医科大学附属柏病院 腫瘍・血液内科）

演者：森田 泰慶（近畿大学医学部 血液・膠原病内科）

共催：旭化成ファーマ株式会社

■ES1-15 ガイドラインによる造血器腫瘍診断

【第 15 会場 国立京都国際会館 1F Room H】

座長：伊豆津 宏二（国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科）

AML と MDS：国際分類でどう変わるか？

演者：通山 薫（川崎医療福祉大学 臨床検査学科）

ゲノム検査に基づく造血器腫瘍診断

演者：眞田 昌（国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター）

共催：大塚製薬株式会社

■ES1-16 エルラナタマブ治療の実践：臨床試験と実臨床におけるケーススタディ

【第 16 会場 ザ・プリンス 京都宝ヶ池 1F ロイヤルルーム】

座長：片岡 圭亮（慶應義塾大学医学部 血液内科／

国立がん研究センター研究所 分子腫瘍学分野）

演者：菊池 拓（日本赤十字社医療センター 血液内科）

共催：ファイザー株式会社

■ES1-17 慢性 GVHD の病態と新規治療

【第 17 会場 ザ・プリンス 京都宝ヶ池 B1F ローズルーム】

座長：前田 嘉信（岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 血液・腫瘍・呼吸器内
科学）

演者：稲本 賢弘（藤田医科大学 造血細胞移植・細胞療法学）

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

■ES1-18 CAR-T 治療成績向上のためにできること ～CAR-T 実施施設・紹介施設の連携の重要性～

【第 18 会場 ザ・プリンス 京都宝ヶ池 B2F ゴールドルーム】

座長：福島 健太郎（大阪大学大学院 医学系研究科 血液・腫瘍内科学）

演者：八木 悠（東京都立駒込病院 腫瘍内科）

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

10月12日(土) 17時10分～17時55分

ES2-1 Expert Guidance on Therapeutic Strategies for Relapsed/Refractory Myeloma

【第1会場 国立京都国際会館 1F メインホール】

座長：飯田 真介（名古屋市立大学医薬学総合研究院（医学）血液・腫瘍内科学分野）
骨髄腫治療における免疫再構築の重要性～ポマリドミド強化抗体療法をどう使うか～

演者：田村 秀人（獨協医科大学 埼玉医療センター 糖尿病内分泌・血液内科）

Evolving Treatment Strategies for Sequencing Immune-based Therapies

演者：Doris K. Hansen（H. Lee Moffitt Cancer Center and Research Institute, Tampa, Florida）

共催：プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

ES2-2 新時代の真菌感染マネジメント

【第2会場 国立京都国際会館 2F Room A】

座長：高橋 聡（東京大学医科学研究所 臨床精密研究基盤社会連携研究部門）

新規分子標的治療薬使用時の真菌感染症管理における TIPS

演者：荒 隆英（北海道大学病院 血液内科）

急性白血病・移植患者における注意すべき抗真菌薬の薬物相互作用

演者：諫田 淳也（京都大学大学院医学研究科 血液内科学）

共催：旭化成ファーマ株式会社

**ES2-3 The Signaling Change in CML
-New Treatment Strategy for Deep Molecular Response-**

【第3会場 国立京都国際会館 1F さくら】

座長：高折 晃史（京都大学医学部附属病院）

演者：高橋 直人（秋田大学大学院医学系研究科 血液・腎臓・膠原病内科学講座）

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

ES2-4 後天性血友病治療 Update ～Emicizumab の位置付け～

【第4会場 国立京都国際会館 1F Room D】

座長：錦井 秀和（筑波大学医学医療系 血液内科）

演者：荻原 建一（奈良県立医科大学 小児科）

共催：中外製薬株式会社

ES2-5 Genetics と Biology から考える CLL 新規治療戦略

【第5会場 国立京都国際会館 1F Room E】

座長：松村 到（近畿大学医学部 血液・膠原病内科）

演者：菊繁 吉謙（九州大学病院 遺伝子・細胞療法部）

共催：アッヴィ合同会社

■ES2-6 中枢神経系原発リンパ腫～治療の課題と今後の展望～

【第6会場 国立京都国際会館 2F Room B-1】

座長：関口 直宏（独立行政法人 国立病院機構 災害医療センター 血液内科）

The current status and future prospects of primary CNS lymphoma

演者：Lakshmi Nayak（The Center for CNS Lymphoma within the Center for Neuro-Oncology, Dana-Farber Cancer Institute, Neurology at Harvard Medical School）

共催：小野薬品工業株式会社

■ES2-7 Updates in AML 2024 with a focus on Menin as a therapeutic target

【第7会場 国立京都国際会館 2F Room B-2】

座長：山内 高弘（福井大学 血液・腫瘍内科）

演者：Naval G. Daver（The University of Texas MD Anderson Cancer Center）

共催：住友ファーマ株式会社 メディカルサイエンス部

■ES2-10 チームで取り組む造血器腫瘍の治療

【第10会場 国立京都国際会館 2F Room K】

座長：村田 誠（滋賀医科大学 内科学講座 血液内科）

演者：平松 靖史（姫路赤十字病院 血液・腫瘍内科）

共催：武田薬品工業株式会社

■ES2-11 PMBCL と cHL に対するペムブロリズマブと新規免疫療法 ～最新エビデンスと AE マネジメント～

【第11会場 国立京都国際会館 1F Room C-1】

座長：下山 達（東京都立病院機構がん・感染症センター 都立駒込病院 腫瘍内科）

演者：湯田 淳一郎（国立がん研究センター東病院 血液腫瘍科／先端医療科）

共催：MSD株式会社

■ES2-12 エビデンスと臨床経験から考える WM/LPL の治療戦略

【第12会場 国立京都国際会館 1F Room C-2】

座長：鎌田 浩稔（北里大学医学部 血液内科学）

WM/LPL の臨床的特徴と治療戦略

演者：梶 大介（虎の門病院 血液内科）

MYD88 変異および CXCR4 変異陽性の原発性マクログロブリン血症に対して
Ibrutinib+Rituximab 療法を行った一例

演者：中邑 幸伸（山口大学医学部附属病院 第三内科／輸血部）

共催：ヤンセンファーマ株式会社

■ES2-13 再生不良性貧血の病態研究と治療 Update

【第13会場 国立京都国際会館 1F Room F】

座長：市川 幹（NTT 東日本関東病院 血液内科）

演者：細川 晃平（金沢大学附属病院 血液内科）

共催：協和キリン株式会社

**ES2-15 血液領域の指定難病の治療と社会の「いま」を知る
～診断・治療・コミュニケーションの最前線～**

オンデマンド配信

【第15会場 国立京都国際会館 1F Room H】

座長：門脇 則光（香川大学医学部 内科学講座 血液・免疫・呼吸器内科学）
市川 衛（READYFOR 株式会社／広島大学医学部）

血液内科医から見た難病の、「いま」「この先」について

演者：門脇 則光（香川大学医学部 内科学講座 血液・免疫・呼吸器内科学）

難病を取り巻く社会の変化～「コミュニケーション」～

演者：市川 衛（READYFOR 株式会社／広島大学医学部）

共催：アレクシオンファーマ合同会社

ES2-16 多発性骨髄腫における well-being 実現と解決すべきアンメットニーズ

【第16会場 ザ・プリンス 京都宝ヶ池 1F ロイヤルルーム】

座長：安倍 正博（社会医療法人川島会 川島病院 血液内科）

多発性骨髄腫治療の最前線：解決すべきアンメットニーズとその道筋

演者：板垣 充弘（日本赤十字社 広島赤十字・原爆病院 血液内科）

持続可能な多発性骨髄腫診療と well-being の実現

演者：淵田 真一（JCHO 京都鞍馬口医療センター 血液内科）

共催：武田薬品工業株式会社メディカルアフェアーズ部

ES2-17 寒冷凝集素症～多彩な病態とその診断と治療～

【第17会場 ザ・プリンス 京都宝ヶ池 B1F ローズルーム】

座長：山之内 純（愛媛大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部）

演者：和田 秀穂（川崎医科大学 血液内科学）

共催：サノフィ株式会社

ES2-18 移植非適応再発・難治性 ALL におけるベスポンサの役割

【第18会場 ザ・プリンス 京都宝ヶ池 B2F ゴールドルーム】

座長：矢野 真吾（東京慈恵会医科大学 血液・腫瘍内科）

演者：花本 仁（近畿大学奈良病院 血液内科）

共催：ファイザー株式会社

10月12日（土） 7時30分～8時15分

**MS2-1 Immune-based Therapies in multiple myeloma:
a new frontier on the road to cure**

【第1会場 国立京都国際会館 1F メインホール】

座長：堺田 恵美子（千葉大学医学部附属病院 血液内科）

IMiDs sequence という治療選択の意義

演者：魚嶋 伸彦（京都第二赤十字病院 血液内科）

BCMA 標的療法をどのように RRMM 治療戦略へ組み込むか

演者：石田 禎夫（日本赤十字社医療センター 血液内科／骨髄腫アミロイドーシスセンター）

共催：プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

■MS2-2 これからの血友病 A 治療戦略 ～High Sustained Factor の位置付け～

【第 2 会場 国立京都国際会館 2F Room A】

座長：木内 英（東京医科大学 臨床検査医学分野）
演者：野上 恵嗣（奈良県立医科大学 小児科学教室）
共催：サノフィ株式会社

■MS2-3 急性リンパ性白血病治療の将来展望

【第 3 会場 国立京都国際会館 1F さくら】

座長：伊藤 能清（今村総合病院 血液内科）
演者：島 隆宏（九州大学病院 先端分子・細胞治療科）
共催：アムジェン株式会社メディカルアフェアーズ本部／アステラス製薬株式会社
メディカルアフェアーズ本部

■MS2-4 Frailty, Fitness, Frontline therapy in Multiple Myeloma

【第 4 会場 国立京都国際会館 1F Room D】

座長：尾崎 修治（徳島県立中央病院 血液内科）
演者：Amrita Krishnan（Judy and Bernard Briskin Multiple Myeloma Center
Hematology/Hematopoietic Cell Transplantation City of Hope Cancer
Center）
共催：ヤンセンファーマ株式会社

■MS2-5 再発・難治性 ATLL および PTCL に対する新規治療薬への期待

【第 5 会場 国立京都国際会館 1F Room E】

座長：野坂 生郷（熊本大学病院 がんセンター）
演者：吉満 誠（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 血液・膠原病内科学分野）
共催：第一三共株式会社

■MS2-6 原発性マクログロブリン血症/リンパ形質細胞リンパ腫（WM/LPL）の 治療戦略

【第 6 会場 国立京都国際会館 2F Room B-1】

座長：山口 素子（三重大学大学院医学系研究科 先進血液腫瘍学 先進血液腫瘍
学分野）
LPL/WM の治療戦略－Evidence と実臨床からの考察－
演者：佐分利 益穂（大分県立病院 血液内科）
共催：小野薬品工業株式会社

■MS2-7 ピアスカイによる PNH 治療の新たなアプローチ

【第 7 会場 国立京都国際会館 2F Room B-2】

座長：池添 隆之（福島県立医科大学医学部 血液内科学講座）
演者：内山 倫宏（獨協医科大学埼玉医療センター 糖尿病内分泌・血液内科）
共催：中外製薬株式会社

■MS2-11 多職種連携による血液診療体制の取り組み

【第 11 会場 国立京都国際会館 1F Room C-1】

座長：新井 文子（聖マリアンナ医科大学 血液・腫瘍内科）

CML 治療における薬剤師の介入とその役割

演者：輪湖 哲也（日本医科大学付属病院 薬剤部）

CML の最新治療：広がる選択肢と患者意思決定に必要なドラッグインフォメーション

演者：脇田 知志（日本医科大学付属病院 血液内科）

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

■MS2-12 先天性血液凝固疾患の最新の展望

【第 12 会場 国立京都国際会館 1F Room C-2】

座長：松本 雅則（奈良県立医科大学 血液内科）

明日から役立つフォン・ヴィレブランド病の治療

演者：武山 雅博（国立病院機構 大阪医療センター 血友病科）

先天性 TTP 管理における課題と新規治療法

演者：酒井 和哉（奈良県立医科大学 輸血部）

共催：武田薬品工業株式会社

■MS2-13 オミクロン株全国疫学調査から考える、With コロナの血液治療

【第 13 会場 国立京都国際会館 1F Room F】

座長：藤田 浩之（済生会横浜市南部病院 血液内科）

演者：岡本 晃直（藤田医科大学病院 血液内科）

共催：アストラゼネカ株式会社

■MS2-15 PTCL 治療の現状と今後

【第 15 会場 国立京都国際会館 1F Room H】

座長：山本 一仁（愛知県がんセンター）

初回治療抵抗性 PTCL をどう治療する？

演者：三浦 勝浩（日本大学医学部附属板橋病院 血液・腫瘍内科／腫瘍センター）

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

■MS2-16

【第 16 会場 ザ・プリンス 京都宝ヶ池 1F ロイヤルルーム】

座長：黒田 純也（京都府立医科大学大学院医学研究科 血液内科学）

データサイエンスによる AITL と制御性 T 細胞

演者：坂田 麻実子（筑波大学医学医療系血液内科／トランスポーター医学研究センター先端血液腫瘍学）

再発難治性 PTCL に対する Denileukin diftitox 療法

演者：城 達郎（日本赤十字社長崎原爆病院 血液内科）

共催：エーザイ株式会社

■MS2-17 血友病患者が幸せな人生 80 年時代を生きるために

【第 17 会場 ザ・プリンス 京都宝ヶ池 B1F ローズルーム】

座長：小川 孔幸（群馬大学医学部附属病院 血液内科）

演者：近澤 悠志（東京医科大学 臨床検査医学分野）

共催：CSL ベーリング株式会社

■MS2-18 造血幹細胞移植後のCMV マネジメント

【第18会場 ザ・プリンス京都宝ヶ池 B2F ゴールドルーム】

座長：池亀 和博（愛知医科大学 造血細胞移植センター）

演者：栗田 尚樹（筑波大学医学医療系 血液内科）

共催：MSD 株式会社

10月13日（日） 8時00分～8時45分

■MS3-1 同種造血細胞移植における非再発死亡率低減を目指して～CMV マネジメントの重要性を再考する～

【第1会場 国立京都国際会館 1F メインホール】

座長：横山 寿行（山形大学 内科学第三講座 血液・細胞治療内科学分野）

演者：山本 久史（虎の門病院 血液内科）

共催：武田薬品工業株式会社 ジャパンメディカルオフィス

■MS3-2 血液疾患における帯状疱疹予防

【第2会場 国立京都国際会館 2F Room A】

同種造血幹細胞移植後水痘帯状疱疹ウイルス活性化制御の現在・過去・未来

座長：神田 善伸（自治医科大学医学部内科学講座 血液学部門）

血液腫瘍および造血幹細胞移植患者における帯状疱疹ワクチンおよびその他のワクチンについて

演者：冲中 敬二（国立がん研究センター東病院 感染症科

国立がん研究センター中央病院 造血幹細胞移植科（併任）

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

■MS3-3 産学連携でひらかれるキムリア復活への道しるべ～生きた細胞をより生かす工夫

オンデマンド配信

【第3会場 国立京都国際会館 1F さくら】

座長：後藤 秀樹（北海道大学病院 検査・輸血部）

演者：新井 康之（京都大学医学部附属病院 細胞療法センター）

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

■MS3-4 CLL における ibrutinib のエビデンスを検証する

【第4会場 国立京都国際会館 1F Room D】

座長：瀧澤 淳（新潟大学 血液・内分泌・代謝内科）

演者：青木 定夫（新潟薬科大学 医療技術学部 臨床検査学科 血液学）

共催：ヤンセンファーマ株式会社

■MS3-5 -発売から4年- 基礎と臨床から紐解く 2nd line におけるサークリサの活かし方

【第5会場 国立京都国際会館 1F Room E】

座長：鈴木 憲史（日本赤十字社医療センター 骨髄腫アミロイドーシスセンター）

演者：三原 圭一郎（藤田医科大学 国際再生医療センター 先進がん免疫療法学）

演者：芹澤 憲太郎（近畿大学医学部 血液・膠原病内科）

共催：サノフィ株式会社

■MS3-6 骨髄腫治療における多面的価値を考える

【第6会場 国立京都国際会館 2F Room B-1】

座長：半田 寛（群馬大学大学院医学系研究科 内科学講座 血液内科学分野）

SC製剤の医療経済的価値とは？

演者：五十嵐 中（東京大学大学院薬学系研究科 医療政策・公衆衛生学）

多発性骨髄腫の連続的な治療戦略 -ダラキューロ治療による働き方改革-

演者：鈴木 一史（東京慈恵会医科大学 腫瘍・血液内科）

共催：ヤンセンファーマ株式会社

■MS3-7 古典的ホジキンリンパ腫の治療戦略と今後の展望

【第7会場 国立京都国際会館 2F Room B-2】

座長：石澤 賢一（東北福祉大学 健康科学部保健看護学科）

古典的ホジキンリンパ腫に対する免疫療法の現状と今後の展望

演者：橋本 大吾（北海道大学大学院 医学研究院 血液内科学教室）

共催：小野薬品工業株式会社／ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

■MS3-11 抗体エンジニアリング技術による Crovalimab の創製

【第11会場 国立京都国際会館 1F Room C-1】

座長：西村 純一（大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学）

演者：井川 智之（中外製薬株式会社）

共催：中外製薬株式会社

■MS3-12 悪性リンパ腫に対する二重特異性抗体治療におけるチーム医療体制

【第12会場 国立京都国際会館 1F Room C-2】

座長：末廣 陽子（九州がんセンター 血液・細胞治療科）

悪性リンパ腫に対する二重特異性抗体治療

-臨床現場の実際と安全運用を目指した多職種連携の取り組み-

演者：富田 章裕（藤田医科大学医学部 血液内科学）

二重特異性抗体治療における看護ケア

演者：野田 早智恵（藤田医科大学病院 看護部 外来薬物療法センター）

共催：ジェンマブ株式会社 メディカルアフェアーズ本部／アッヴィ合同会社 医学統括本部

■MS3-16 造血器腫瘍臨床における遺伝子パネル検査の展望

【第16会場 ザ・プリンス 京都宝ヶ池 1F ロイヤルルーム】

座長：小川 誠司（京都大学大学院 医学研究科 腫瘍生物学講座）

演者：前田 高宏（九州大学 医学研究院 臨床医学部門 プレシジョン医療学）

共催：アステラス製薬株式会社 メディカルアフェアーズ本部

■MS3-17 最近の慢性骨髄性白血病治療の流れ

【第17会場 ザ・プリンス 京都宝ヶ池 B1F ローズルーム】

座長：藤澤 信（横浜市立大学市民総合医療センター 血液内科）

演者：嬉野 博志（佐賀大学医学部創薬科学共同研究講座）

共催：ファイザー株式会社

**■MS3-18 濾胞性リンパ腫における EZH2 遺伝子異常と病理の関連性と
タゼメトスタット国内第二相試験の3年間フォローアップ解析結果**

【第18会場 ザ・プリンス京都宝ヶ池 B2F ゴールドルーム】

座長：柴山 浩彦（国立病院機構大阪医療センター 血液内科）

濾胞性リンパ腫における EZH2 遺伝子異常と病理所見の関連性

演者：加留部 謙之輔（名古屋大学大学院医学系研究科 臓器病態診断学）

タゼメトスタット国内第二相試験の3年間フォローアップ解析結果

演者：頼 晋也（近畿大学医学部 血液・膠原病内科）

共催：エーザイ株式会社メディカル本部

10月12日（土） 11時20分～12時05分

■OLS2-1 女性と出血性疾患 ～血友病は男性だけじゃない！～

【ライブ配信のみ】

座長：細貝 亮介（新潟大学医学部小児科学教室）

演者：備後 真登（東京医科大学 臨床検査医学分野）

共催：藤本製薬株式会社

10月12日（土） 10時40分～11時10分

■IS2-2 PNH 治療における残された臨床課題

オンデマンド配信

【第2会場 国立京都国際会館 2F Room A】

座長：川口 辰哉（熊本保健科学大学 医学検査学科）

演者：小原 直（筑波大学 医学医療系 血液内科）

共催：アレクシオンファーマ合同会社 メディカルアフェアーズ本部

10月13日（日） 11時10分～11時40分

**■IS3-2 Blurred Lines: Navigating the Gray Areas Between Aplastic Anemia
and MDS**

【第2会場 国立京都国際会館 2F Room A】

座長：臼杵 憲祐（NTT 東日本関東病院 血液内科）

1. Case report from Japan

演者：材木 義隆（金沢大学附属病院 血液内科／感染制御部）

2. Case report from Korea

演者：Jun Ho Jang（Samsung Medical Center Sungkyunkwan University School
of Medicine Seoul Republic of Korea）

共催：協和キリン株式会社